

全日本サーフキャスティング連盟 大阪協会新年総会（1 月度理事会）議事録

平成 21 年 1 月 28 日（水）午後 7 時～

於：大阪産業創造館 6 階会議室 E 出席クラブ 43 クラブ（欠席 1 クラブ）

・吉本協会長挨拶

あけましておめでとうございます、本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

連盟も先日新年総会が終わりました。協会では私が提案した協会長の任期の 3 年目が今年となります。初めの 2 年半は組織作りをしようと考え、皆さんのご協力で上手く運営が出来たと感じています。最後の今年には海浜のクリーンアップ作戦について取組みたいと考えています。

連盟の新年総会では、大物申請料の 5%が各協会へ還付されることが決まりました。大いに釣りに行って頂き、大物申請数が連盟のトップになるよう頑張ってくださいと思います。今年 1 年間よろしくお願ひいたします。

※議長選出については、藤原副会長を選出（異議なし）

- ・藤原副会長を議長として 19 時 10 分新年総会議事に入る。

第 1 号議案 全日本サーフキャスティング連盟 新年総会報告（藤原議長）

（連盟議事録から転載）

日時：平成 21 年 1 月 25 日（日）12 時 07 分～14 時 37 分

場所：新大阪丸ビル新館 6 階 602 号会議室

■平成 20 年度事業報告

大田事務局長

- 1.大物賞・特別大物賞の申請は全てのランク（S ランク含む）、写真申請でも良いとなった。但し、日本記録魚については従来通り魚拓に限る。
- 2.協会主催行事のレクリエーション保険は希望する協会に限り、連盟加入の同種保険に包括加入できる。
- 3.全日本キス・カレイの成績採点にあたり他魚の部は、審査提出魚の実寸を当該魚の S ランクで割り、比率（ポイント）の高い方を上位とする。
- 4.S C 競技会で使用するラインはサンライン社製または東レ（旧指定糸）社製の 2 号以外は認めない。力糸についても二社の 3～16 号・3～14 号以外は認めない。尚、3.5.7 号のラインについて指定はしないが、東レ社製に限り競技会において検測はおこなわない。
- 5.全日本キス・カレイの P J を全協会持ち回り制とする。その目的として全協会が行事運営を等しく担うことで、連帯感を一層強く持っていただけるとの観点です。

■事故防止報告

谷後事故防止部長

- ・平成 20 年度事故報告及び事故防止講習会の開催（未開催）協会の明細については資料に表しております。特に未開催協会には諸事情あるとは思いますが、21 年度は全協会の開催を要望いたします。また全日本サーフ会員による人命救助者の顕彰と岩田連盟会長より、表彰盾が以下の四名の会員さんに授与されました。

兵庫協会 西神戸アングラーズ 小畑裕司 氏 同協会 東神戸釣楽会 桃井道雄 氏
北九州協会 福岡サーフ 中島康彦 氏 同協会 小倉メゴチサーフ 山田 統 氏

■会計報告

- ・本部会計部/大物部/S C 部/資材部とも総会資料でご確認ください。

■会計報告について

- ・議長は各専門部の会計報告について質問を求めた。特に異議及び質問は出なかった。

■監査報告

- ・議長より監査報告の要請があり、木村監査役、杉野監査役、宗貞監査役の三名を代表して木村監査役より、四部署から帳簿・領収書その他関係書類一式の提出を受け、平成 21 年 1 月 11 日「新大阪丸ビル会議室」において精査した結果、すべて適正に処理されていることを確認した。よって本総会にて報告いたします。

■会計報告と監査報告の承認

- ・議長は出席者に会計報告と監査報告併せて承認を求め、拍手多数により承認された。

■資産報告

- ・本部会計部には物品の資産はありません。
- ・大物部ではバッジ在庫・スーパーランクタグ・大物対象魚図鑑・パソコンである。
- ・S C 部では競技会使用の用具が多くあるので、総会資料にてご確認ください。
- ・資材部でも在庫商品の明細は総会資料にてご確認願いたい。
- ・本部保管品として、連盟会長印鑑 1 本、連盟角印 1 個、国旗 1 旒、連盟旗 2 旒（赤・青）、クリーンアップ横断幕本部用 1 枚、東西 100 人の会横断幕 2 枚、総会用横断幕 2 枚（新年・年末）、100 人の会審査用ビニール袋 3,500 枚、事務用品一式を連盟会長が管理している。

■資産・保管用品報告について

- ・議長は出席者に各部署の資産について質問を求めた。

※大阪協会 サーフ和の藤原靖典氏の質問。

大物部に対し、総会資料 (26 ページ) にあるバッジ預り証の完成品・未完成品については理解できるが、原材料とあるが、その内容をご説明願いたい。

- ・とした大物部長の回答。何代か以前の執行部時代にバッジ製造会社の要請で原材料仕入れのため前渡し金をおこなっていた。したがって相応の原材料も連盟のものであることから、預り証として提出していただいている。

※和歌山協会 和歌山サーフの深田吉宣氏の質問。

大物部に対し、特別大物 300 号以上のバッジが廃止されることは承知しているが不要になったバッジの処理をお伺いしたい。

- ・とした大物部長の回答。特別大物バッジ 300 号以上の廃止が決定 (20 年 7 月議事録) されたとき、お尋ねの件も大物部に任せていただき、実施は 21 年度からとした。大物部としては 300 号以上から新たな商品を発行することには変わりなく、そのうえで、損金処理したバッジも希望する方には該当号数がある限り、無償で進呈する。

尚、バッジは現在早川徽章にある。早々に引き取る予定である。

■平成 21 年度事業計画

- ・大田事務局長より、今年度の事業計画について総会資料に基づいて説明がある。

■キス段位制について

- ・帷企画部長より、今年度初認定された級位獲得者の内訳として、5 級 39 名・4 級 17 名。合計 56 名と発表がある。累計ポイントとして 2 級獲得者も出現しており、このペースだと制度発足 3 年目にして段位獲得者が出るとの報告もされた。

■予算案

- ・本部会計部/大物部/S C 部の各専門部より、21 年度連盟予算案が提出された。

■日本記録魚拓ラミネイト加工について

- ・代々の大物部に引き継がれてきている日本記録魚拓に損傷の激しいものがある。特にひどいのは保管のため巻いているものを広げようとするやと破れるような魚拓もある。そこで現在の日本記録を基本に今後、記録更新の難しい魚種、美しい魚拓などを選別し、保存のための措置を講じた。尚、日本記録魚として申請 (提出) された魚拓は連盟所有としているので返却はおこなっていない。したがって今後の保存に耐えられない魚拓は勿論だが厳選から外れた魚拓についても大物部で処分したい。この二点の承認を願いたい。

■予算案について質疑

- ・議長は各専門部提出の 21 年度予算案について出席者から質疑を求めた。

※木村中部協会長の質問

S C 部長に対し、在庫が多くある遠投賞の具体的利用法についてお尋ねしたい。

- ・松井 S C 部長の回答。制定された当時と現在ではこの遠投賞は現実になじまないものもある。このままでは在庫の減少は望めないこともあり、できれば対象品では無いが、S C 大会の参加バッジとして代用していただければ、参加費の現状維持にも繋がることから、S C 部として一石二鳥である。

■予算案の承認

- ・議長は各専門部から、提出された予算案について承認を求めた。

- ・ S C 遠投賞を参加バッジとして代用は今年度常任理事会で継続審議とするが、それ以外について特に異議は無く、賛成多数により 21 年度予算案は承認された。

■その他

- ・ 渡部広報部長より、本議事録 2 ページにある事業報告 2 項、レクリエーション保険について以下の追加説明がある。
- ・ 契約スタートは 2 月 1 日とするが希望協会は事前に S C と釣り大会を区分して年間延べ参加予測人数を S C 大会は S C 部。釣り大会は広報部に提出すること。
- ・ 各協会は 1 行事が終了してから 10 日間を目途にして実参加数を大会の該当報告先に文書（成績表など）で報告し、保険料は会計部に振り込むこと。
- ・ 野村会計部長より、保険料の支払いは会費納付時に使用する郵便局の用紙にてお願いする。また主催者賠償責任保険の加入についても協会任意とする。
- ・ 岩田連盟会長より、この保険は協会主催行事が対象であることから、任意加入であります。保険の効用は説明するまでも無いが、協会にとってメリットがあるのでご説明します。
個別協会だと参加人数によっては安価なレク保険に加入できない。したがって現在 連盟が加入しているレク保険に包括加入することのお勧めとレク保険は人数対象 なので、追加加入が簡単・掛け忘れが防げる・保険料はあくまで実数分なので、予測申し込み人数は多めに申告していても安心などです。

■第 89 回全日本カレイ投げ釣り選手権大会について P J 古賀岡山協会長

- ・ 年末総会で発表した収支報告の中で、釣り場責任者が P J まで返送する書類の郵送費を協会負担に願いたい。異例の事ではあるが今回に限りとするのでと了承を受けた。しかし、その後になって P J の解釈違いが判明した。すなわち各協会が参加費の納入に伴う振込み料金も P J が負担し、協会に返却するものと思っていた。であれば収支が赤字となるので、P J 自己負担も覚悟して年末総会のお願いとなった次第です。

勘違い判明後、直ちに該当部分を修正したところ、逆に剰余金が発生しました。

協会長各位および全ての釣り場責任者の皆様には大変ご迷惑をお掛けし、申し訳ありませんでした。本総会において収支報告書の訂正と実費送料の返還をいたします。

■大物申請について としだ大物部長

- ・ 今年度の退会クラブ・会員・新規クラブ・新規加入会員・移籍会員などがありましたら、システムを変更する必要があります。したがって該当協会さんは新年度登録に際してはお忘れの無いよう、ご注意ください。
- ・ 大物申請料金振込み用紙をお渡しする。各協会とも 1 年分お渡しするので、昨年のお振込み用紙は残っていても全て廃棄してください。

※木村中部協会長より、大物パスワードの人数について増やせないかと質問がある。

- ・ としだ大物部長の回答。協会用はセキュリティの都合で 2 名までと限定しているので、増やすことはできない。しかし、クラブ用については人数の制限は無い。

※谷後兵庫協会長より、協会大物担当者に変更があるので新たなパスワードを交付してほしい。

- ・ としだ大物部長の回答。協会 2 名の限定は上記の通りなので、本日配布の書類に新規の大物担当者名など必要事項を記入して提出してほしい。

■全日本サーフリーフレットおよび連盟 45 周年記念行事について 岩田連盟会長

- ・ 全日本サーフの活動内容を写真主体にして分かりやすく説明したリーフレットを作成した。配布は各協会所属クラブ単位 100 枚とし、既に協会まで送付した。

個々クラブさんおよび個々会員さんにはご自分の行き付けである釣具店さんにリーフレットを置かせていただくようお願いしてください。連盟本部ではマスコミさんを通じて広く PR の依頼をおこないます。特に協会の設立されていない地区にはメーカーさんの協力を得て、釣具店さんを紹介していただく作業を進めています。

- ・ 全日本サーフは平成 22 年度に創立 45 周年を迎えます。創立以来 5 年を節目におこなわれている祝賀会の開催ならびに記念誌の発行は、年末の総会で承認されていることから、既に事務局長と祝賀会会場として新大阪駅近くの「メルパルク大阪」を下見・予約をしております。今期常任理事会において参加費や参加記念品を含めた予算を提出いたします。

※松井香川協会長より、前東京協会長であった方から、クラブ対抗キスの会場変更 問題や自身の処分に

ついてアレコレと書かれた手紙が届いた。特に会場の件は香川協会でも何故変更になったのか？鳥取砂丘の方が良かったなどの質問も良く出ることもあり、本部の見解を伺い、議事録に掲載いただければありがたい。

- ・岩田連盟会長の回答。私にはご指摘の手紙は届いておりません。またアレコレに関心もありません。基本的に、全日本サーフに対して建設的なご意見は例えご批判でも真摯に受け止めさせていただきます。しかし、単に批判でしかない類のものは一々取り合わないのが本部の基本姿勢であります。

しかし、香川協会の会員さんを含め、同様に思われている全国の会員さんにお答えする意味で、クラブ対抗キスの会場移転に至った事実のみご説明いたします。数年前の年末拡大理事会前夜に開催された協会長・本部役員会において、次年度の行事日程を決めるときでした。鳥取協会長さんより、来年は選手として出場したいと協会員が望んでいる。したがって来年度の P J は辞退したいと申し出があった。

鳥取協会さんには毎年のお世話であり、言われてみれば申し出に十分理解できることから、来年度の P J は何処か他の協会さんに依頼することになりました。しかし、鳥取協会さんの申し出は鳥取砂丘以外の地で開催してほしいことも含まれておりました。P J 同様に開催地の辞退までは予測もしていないことであり、ましてや全国から数百人が参加する規模の大会であり、それに伴う広大な駐車場および食事などを考えても他の開催地など思い浮かぶものではありませんでした。回答に窮した執行部として翌日開催の拡大理事会で再度検討することにしました。

しかし、会議終了後に、当時の事務局長であった淵脇氏から、京丹後市なら開催できると思うので、現地と調整を諮りたいと報告があった。それが上手くいくなれば、鳥取協会さんの要望にも叶うので、安堵した次第でした。早速、京丹後市には大会受け入れの打診から行事内容の説明。さらに全日本サーフとは如何なる組織かの説明もおこなうため現地まで赴くことにもなりました。

初回はともかく二回目からは京丹後市では大会の趣旨に理解・賛同いただき、市の農林水産課から専従の担当者を就けていただき、小規模とは言え、朝市や産地商品をメインとする表彰品の段取り、公民館使用の便宜など。全日本サーフでも、地域活性化の一助として 400 食の弁当注文、表彰品の購入など。また京丹後市観光協会長や京丹後市長の来賓挨拶なども恒例化しており、平成 18 年から、わずか 3 回の開催ではありますが双方とも非常に緊密な関係を築きあげてきております。クラブ対抗キスの会場変更はこのような経緯であります。

したがって単に全日本サーフの都合だけで、鳥取砂丘に会場を戻すことは、組織としての全日本サーフの信義を問われることでもあります。鳥取砂丘での開催を思う会員さんと再度 P J を願う鳥取協会さんには大変恐縮いたしますが、いずれのときはまたお世話になると思っておりますが、鳥取協会長さんも、その辺りについてはご自身が P J 責任者としてご苦労された経験から、誰よりも良く理解していただいているものと承知しております。

■各種表彰（20 年度）

- ・ S C 日本記録賞

第 5 種目 A 三投平均 206.52 ^{トル} 兵庫協会 西宮天狗サーフ 船曳正義 氏

第 5 種目 B 最 長 188.69 ^{トル} 中部協会 中京サーフ 八田雄三 氏

- ・ 日本記録魚賞（◎印は日本新記録）

◎ウサギアイナメ	57.1 ^{センチ}	三重協会	熊野サーフ	岩本 博 氏
カサゴ	46.6 ^{センチ}	高知協会	RYOMA サーフ	吉永武司 氏
◎カサゴ	50.8 ^{センチ}	岡山協会	岡山フェニックスサーフ	石井隆司 氏
カサゴ	45.5 ^{センチ}	兵庫協会	レインボーキャスターズ	車谷哲男 氏
カサゴ	46.2 ^{センチ}	兵庫協会	関西サーフ	大迫敬介 氏
◎ウマズラハギ	43.0 ^{センチ}	広島協会	スワロー F C	柳田秀憲 氏
◎イ ラ	55.3 ^{センチ}	岡山協会	岡山シースター	栃木克俊 氏
キジハタ	58.4 ^{センチ}	愛媛協会	燧倶楽部	別宮秀男 氏
キジハタ	55.2 ^{センチ}	和歌山協会	サーフきのくに	笹木貴生 氏
◎キジハタ	61.3 ^{センチ}	愛媛協会	西条プリマサーフ	加藤 勤 氏
キジハタ	57.3 ^{センチ}	兵庫協会	姫路しらさぎサーフ	角谷英敏 氏
キジハタ	58.9 ^{センチ}	岡山協会	シーチーム	坂江 悟 氏

- ・ 個人別大物申請数

- 第 1 位 412 枚 愛知協会 豊橋サーフ 足立洋治 氏
- 第 2 位 365 枚 愛媛協会 西条プリマサーフ 竹島治二 氏
- 第 3 位 296 枚 千葉協会 NFC サーフ 奥島昌幸 氏

・クラブ別大物申請数

- 第 1 位 1,041 枚 愛媛協会 西条プリマサーフ
- 第 2 位 757 枚 兵庫協会 レインボーキャスターズ
- 第 3 位 717 枚 兵庫協会 神戸中央サーフ
- 第 4 位 613 枚 兵庫協会 神戸投魂会
- 第 5 位 605 枚 千葉協会 NFC サーフ

・異種 25 魚種達成表彰

- 兵庫協会 関西サーフ 主島茂久 氏
- 愛媛協会 西四国サーフ 岡田正時 氏
- 広島協会 スワローFC 敷本正規 氏

・異種 41 魚種、30 種以上達成表彰

- 大阪協会 33 魚種 高槻サーフ 吉田 勝 氏
- 香川協会 33 魚種 屋島サーフ 戸田 悟 氏
- 兵庫協会 30 魚種 神戸投魂会 佐伯和俊 氏

■大物対象魚図鑑について

岩田連盟会長

- ・広く頒布を図るため連盟より助成金を受けている行事には対象魚図鑑（10 冊）を含むことにする。
- ・図鑑発行後に一部内容の変更もあるが、次回発行の機会があるまで訂正はしない。

第 2 号議案 大阪協会平成 20 年度行事報告並びに会計報告

■平成 20 年度行事報告

・本部事務局

上野事務局長より、平成 20 年度大阪協会行事報告書に基づいて説明及び報告があった。

・大物事務局

池田大物事務局長より、資料に基づいて説明及び報告があった。今年より、全魚種・全ランクに対して写真での大物申請が認められたが日本記録・協会記録については従来通りの申請方法であると説明があった。

・キャスティング事務局

小山キャスティング事務局長より、資料に基づいて説明及び報告があった。

今年の夏季通信大会は暑い時期を外して行うので多数の参加をお願いしたい旨、要請があった。

・事故防止について

太田事故防止委員長より、資料に基づいて説明及び報告があった。

今年も各クラブで実施をして頂き 10 月末までに報告をして頂きたい。又、昨年、実施出来なかったクラブは今年は、実施して欲しいと要請があった。

■平成 20 年度会計報告

・会計部

野村会計部長より、平成 20 年度収支報告書に基づいて説明及び報告があった。

■平成 20 年度会計監査報告

・会計監査

井本・片狩・森田会計監査より平成 20 年度収支報告書について、適正であるとの監査報告があった。

※平成 20 年度行事報告及び会計報告については承認された

■平成 20 年度各種表彰

- ・キャスティング事務局長より連盟年間ベスト 10、協会記録の表彰が行われた。
- ・大物事務局長より平成 20 年度魚種別年間大物、個人別大物申請ベスト 10、協会記録魚更新の表彰が行われた。
- ・昨年の第 89 回全日本カレイ投げ釣り選手権大会の表彰を行った。
- ・キス段位制の表彰を行った。昨年から始まった制度であり、今回は 3 名が 5 級に認定された。

■役員改選

- ・協会長については、吉本協会長の任期が 3 年であるため、再任が承認された。役員については、21 年度協会役員について発表があり承認された。(資料当日配布)

■平成 21 年度行事計画報告

- ・上野事務局長より、平成 21 年度大阪協会行事日程に基づいて報告があった。

第 3 号議案 大阪協会初釣り大会について (PJ: 北斗サーフ)

- ・初釣り大会について報告
参加者 一般 273 名 婦・少 7 名 計 280 名

第 4 号議案 その他

- ・クラブ代表者の交代について
東住吉サーフの代表者が、西山氏から島岡氏へ変更する旨報告があった。
- ・メーカー主催のキス釣り大会の日程が、連盟総会資料に載っているので参考にして欲しい。参加出来る場合は参加して下さいと依頼があった。
- ・先月、依頼した連盟のリーフレットを、本日各クラブへ配布している。釣具店や人の集まる場所へ置いて頂けるようお願いして下さい。
- ・大物申請料の還付金の扱いについて、先日の副会長会で話し合った。協会の大物申請数の上位 10 クラブに還付すればどうかとの意見がありましたので本日、この場で決めたいと思いますが意見はありませんか。
※意見がないので、上位 10 クラブに還付する事に決定された。
※残金については、協会の収入とする。

20 時 30 分閉会